

癌化学療法 投与計画書 (新規・変更)

カルテ番号
氏 名
生年月日
性別

提出日
主治医

病名: EGFR遺伝子変異陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌
患者本人へ説明した内容:

手術日

プロトコール名:Ami+Laz(<80kg 1サイクル目)

ケール目
開始日
次回予定日

身長(cm) 体重(kg) 体表面積(m²)

確認事項

□ 静脈血栓塞栓症の発症抑制するため本レジメン開始から4か月間は
アピキサバン1回2.5mgを1日2回経口投与

(00年1月0日 ~ 00年4月29日)

※すでにアピキサバンを含む直接経口抗凝固薬(DOAC)や抗凝固薬:ワーファリンを内服している場合は追加不要
※抗凝固薬なしで、バイアスピリン等の抗血小板薬のみ内服している場合は、科内統一でアピキサバンを上乗せする方針(最終は主治医判断)

※0.2又は0.22μmのフィルターを通して投与						DAY 1	DAY 2	...	DAY 8	...	DAY 15	...	DAY 22
薬品名	プロトコール標準量	投与量	経路	点滴時間・速度	コメント	1月 0日	1月 1日		1月 7日		1月 14日		1月 21日
1 ラズクルーズ		240mg/日	経口		連日	○	○	...	○	...	○	...	○
2 カロナール錠200mg		800mg	経口			○	○		○		○		○
3 生理食塩液		100mL	点滴	30分		○	○		○		○		○
デキサート(6.6mg)		1.5瓶	点滴			○	○		○		○		○
ボラミン(5mg)		1A	点滴			○	○		○		○		○
ガスター注(20mg)		1A	点滴			○	○		○		○		○
4 生理食塩液		100mL	点滴	15分		○	○		○		○		○
5 生理食塩液		250mL	点滴	下記		○	○		○		○		○
ライブリバント	350mg/body		点滴	50mL/hr(2hr) →75mL/hrに上昇可	総量 250mLに なるよう 調製	○							
ライブリバント	700mg/body		点滴	50mL/hr(2hr) →75mL/hrに上昇可			○						
ライブリバント	1050mg/body		点滴	day8は85mL/hr day15、22は125mL/hr					○		○		○
6 生理食塩液		50mL	点滴	15分		○	○		○		○		○

標準投与量

ライブリバント

350mg

700mg

1,050mg

※網掛け部分にご記入ください。

1サイクル: 28日
投与日:ラズクルーズ 連日
ライブリバント day1、2、8、15、22
サイクル数:1

※day8以降のデキサート10mgとガスターは任意だが、
申請医と相談し、当院では投与する方針とする。

《注意事項》
1.この計画書は、初回投与までに提出してください。提出のない場合は、混注対象外とします
2.計画を変更する場合は、その都度、計画書を提出してください。

※投薬上の注意などありましたら、ご指示下さい。